

貨物自動車運送事業法令試験実施結果
(令和5年5月)

中部運輸局

令和5年5月19日

| | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|-------|------|------|-------|
| 中部運輸局 | 38 | 33 | 86.8% |

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和5年5月19日)

申請者名(法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から14の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を()内に記入しなさい。

問題1

事業者は、私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題2 (運賃及び料金等の掲示)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金、運送約款を事業用自動車内において公衆に見やすいように掲示しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題3 (運賃及び料金の届出)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金を定めあらかじめ国土交通大臣に届けなければならない。これを変更しようとするときも同様とする。(貨物自動車運送事業報告規則)

()

問題4（事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、一般貨物自動車運送事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題5（過労運転の防止）

運行管理者は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の運転者を常時選任しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題6（事業）

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他貨物自動車運送事業法又は貨物自動車運送事業法に基づく命令の遵守に関し一般貨物自動車運送事業者に対する指導を行う。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題7（整備管理者）

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。（道路運送車両法）

（ ）

問題8（届出）

一般貨物自動車運送事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合、許可をした地方運輸局長へ届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法施行規則）

（ ）

問題 9 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者は、乗務員の健康状態の把握に努め、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員を事業用自動車に乗務をさせてはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 10 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は自社の車両(名義)を他人に貸して、一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者を行わせることが出来る。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 11 (運行管理者の業務)

運行管理者は、運転者に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 12 (公衆の利便を阻害する行為の禁止等)

一般貨物自動車運送事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を促進する結果を生ずるような競争をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 3 (下請代金の支払期日)

下請代金の支払期日が定められなかつたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日が、法第 2 条の 2 第 1 項の規定に違反して下請代金の支払期日が定められたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日から起算して六十日を経過した日の前日が下請代金の支払期日と定められたものとみなす。(下請代金支払遅延等防止法)

()

問題 1 4 (定義)

「一般貨物自動車運送事業」とは他人の需要に応じ、有償で自動車(三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。)を使用して貨物を運送する事業であって、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。(貨物自動車運送事業法)

()

II. 次の問題 1 5 から 2 2 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 5 (従業員に対する指導及び監督)

一般貨物自動車運送事業者は、運転者ごとに、国土交通大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が告示で定める適性診断であって、国土交通大臣の認定を受けたものを受けさせなければならないことになっているが、対象となる運転者として正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 死者又は負傷者が生じた事故を引き起こした者
- イ. 事務員として新たに雇い入れた者
- ウ. 60才以上の高齢者

ア () イ () ウ ()

問題 1 6 (運賃及び料金等の掲示)

一般貨物自動車運送事業者が、主たる事務所その他の営業所に掲示しなければならないものとして法で定められているものはどれか 1 つ選びなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 貨物自動車運送事業許可書
- イ. 営業区域
- ウ. 運送約款

()

問題 1 7 (停車及び駐車を禁止する場所)

停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを 2 つ選び () 内に記入しなさい。(道路交通法)

- ア. 交差点の側端から 5 メートル以内の部分
- イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に 1 0 メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から 1 5 メートル 以内の部分 (当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に 1 0 メートル以内の部分

() ()

問題 1 8 (法人の合併又は分割の認可の申請)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項として正しいを 1 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 合併又は分割の契約日
- イ. 合併又は分割の方法及び条件
- ウ. 合併又は分割の計画日

()

問題 1 9 (運賃及び料金の届出)

運賃料金設定 (変更) 届出書に記載しなければならない事項として正しいものを 1 つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

- ア. 実施日
- イ. 荷主の住所氏名
- ウ. 原価計算

()

問題 2 0 (運転者台帳)

一般貨物自動車運送事業者は、一定の様式の運転者台帳を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならないことになっているが、台帳に記入しなければならないものについて次の中から正しいものを 2 つ選び () に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 運転者の性別
- イ. 運転者の健康状態
- ウ. 運転者の貯蓄額
- エ. 運転者に対する指導の実施及び適性診断の受診状況
- オ. 道路運送法に基づく、運行管理者資格に関する事項

() ()

問題 2 1 (運送約款の記載事項)

次のうち、運送約款に記載しなければならない事項として正しいものを 1 つ選び () 内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運送の引受けに関する事項
- イ. 事業用自動車に関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項

()

問題 2 2 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示（平成元年2月9日労働省告示第7号）によって定められています。次のア～オのうち、正しいものに○を、誤っているものに×を（ ）内に記入しなさい。（自動車運転手の労働時間等の改善のための基準）

- ア. 拘束時間は、1箇月について393時間超えないものとする。 ()
- イ. 1日についての拘束時間は、10時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は12時間とする。 ()
- ウ. 勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を与える。 ()
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。 ()
- オ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとする。 ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題 (解答)
(令和5年5月19日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から14の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を()内に記入しなさい。

問題1

事業者は、私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第3条)

(○)

問題2 (運賃及び料金等の掲示)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金、運送約款を事業用自動車内において公衆に見やすいように掲示しなければならない。(貨物自動車運送事業法第11条)

(正) 主たる事務所その他の営業所において

(×)

問題3 (運賃及び料金の届出)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金を定めあらかじめ国土交通大臣に届けなければならない。これを変更しようとするときも同様とする。(貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

(正) 運賃及び料金を定め又は変更したときは、運賃及び料金の設定又は変更後30日以内に、提出しなければならない

(×)

問題4（事業改善の命令）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、一般貨物自動車運送事業者に対し、役員の変更を命ずることができる。（貨物自動車運送事業法第26条）

（正）事業計画等

（ × ）

問題5（過労運転の防止）

運行管理者は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の運転者を常時選任しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第1項）

（正）一般貨物自動車運送事業者

（ × ）

問題6（事業）

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他貨物自動車運送事業法又は貨物自動車運送事業法に基づく命令の遵守に関し一般貨物自動車運送事業者に対する指導を行う。（貨物自動車運送事業法第39条）

（ ○ ）

問題7（整備管理者）

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。（道路運送車両法第50条第1項）

（ ○ ）

問題8（届出）

一般貨物自動車運送事業者の氏名、名称又は住所に変更があった場合、許可をした地方運輸局長へ届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法施行規則第44条第1項第5号）

（ ○ ）

問題 9 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者は、乗務員の健康状態の把握に努め、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員を事業用自動車に乗務をさせてはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第6項)

(○)

問題 10 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は自社の車両(名義)を他人に貸して、一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者を行わせることが出来る。(貨物自動車運送事業法第27条第2項)

(正) いかなる方法をもってするかを問わず、他人にその名において経営させてはならない。

(×)

問題 11 (運行管理者の業務)

運行管理者は、運転者に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条第1項)

(○)

問題 12 (公衆の利便を阻害する行為の禁止等)

一般貨物自動車運送事業者は、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を促進する結果を生ずるような競争をしてはならない。(貨物自動車運送事業法第25条第2項)

(正) 阻害する結果

(×)

問題 1 3 (下請代金の支払期日)

下請代金の支払期日が定められなかつたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日が、法第 2 条の 2 第 1 項の規定に違反して下請代金の支払期日が定められたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日から起算して六十日を経過した日の前日が下請代金の支払期日と定められたものとみなす。(下請代金支払遅延等防止法第 2 条の 2 第 2 項)

(○)

問題 1 4 (定義)

「一般貨物自動車運送事業」とは他人の需要に応じ、有償で自動車(三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。)を使用して貨物を運送する事業であって、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。(貨物自動車運送事業法第 2 条第 2 項)

(○)

II. 次の問題 15 から 22 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 15 (従業員に対する指導及び監督)

一般貨物自動車運送事業者は、運転者ごとに、国土交通大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が告示で定める適性診断であって、国土交通大臣の認定を受けたものを受けさせなければならないことになっているが、対象となる運転者として正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第10条第2項)

- ア. 死者又は負傷者が生じた事故を引き起こした者
- イ. 事務員として新たに雇い入れた者
- ウ. 60才以上の高齢者

ア. ○ イ. 運転手として ウ. 65才以上

ア (○) イ (×) ウ (×)

問題 16 (運賃及び料金等の掲示)

一般貨物自動車運送事業者が、主たる事務所その他の営業所に掲示しなければならないものとして法で定められているものはどれか 1 つ選びなさい。(貨物自動車運送事業法第11条)

- ア. 貨物自動車運送事業許可書
- イ. 営業区域
- ウ. 運送約款

(ウ)

問題 17 (停車及び駐車を禁止する場所)

停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを2つ選び () 内に記入しなさい。(道路交通法第44条)

- ア. 交差点の側端から5メートル以内の部分
- イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から15メートル以内の部分(当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分

(正) ア. ○ イ. 5メートル ウ. 10メートル エ. ○

(ア) (エ)

問題 18 (法人の合併又は分割の認可の申請)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併又は分割の認可申請書に記載しなければならない事項として正しいを1つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第18条第1項)

- ア. 合併又は分割の契約日
- イ. 合併又は分割の方法及び条件
- ウ. 合併又は分割の計画日

(イ)

問題 19 (運賃及び料金の届出)

運賃料金設定(変更)届出書に記載しなければならない事項として正しいものを1つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

- ア. 実施日
- イ. 荷主の住所氏名
- ウ. 原価計算

(ア)

問題 20 (運転者台帳)

一般貨物自動車運送事業者は、一定の様式の運転者台帳を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならないことになっているが、台帳に記入しなければならないものについて次の中から正しいものを2つ選び()に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の5第1項)

- ア. 運転者の性別
- イ. 運転者の健康状態
- ウ. 運転者の貯蓄額
- エ. 運転者に対する指導の実施及び適性診断の受診状況
- オ. 道路運送法に基づく、運行管理者資格に関する事項

(イ) (エ)

問題 21 (運送約款の記載事項)

次のうち、運送約款に記載しなければならない事項として正しいものを1つ選び()内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第11条)

- ア. 運送の引受けに関する事項
- イ. 事業用自動車に関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項

(ア)

問題 2 2 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示（平成元年2月9日労働省告示第7号）によって定められています。次のア～オのうち、正しいものに○を、誤っているものに×を（ ）内に記入しなさい。（自動車運転手の労働時間等の改善のための基準第4条第1項）

- ア. 拘束時間は、1箇月について393時間超えないものとする。 (×)
イ. 1日についての拘束時間は、10時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は12時間とする。 (×)
ウ. 勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を与える。 (○)
エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。 (○)
オ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとする。 (○)

ア. 293時間 イ. 13時間／16時間 ウ. ○ エ. ○ オ. ○